



2022年6月29日

各位

会社名 昭和パックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野寺 香一
(コード：3954 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理本部長 清水 貴雄
(TEL. 03-3269-5111)

中期経営計画「PAXXS Vision-2030」の策定に関するお知らせ

当社グループは、2022年度を初年度とする新中期経営計画「PAXXS Vision-2030」を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

なお、本計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社グループは、産業用包装資材のメーカーとして長い歴史の中で適切に投資を行い、堅実な経営を続けてまいりました。しかし、年月を重ねるうちに設備・建屋の老朽化が目立つようになり、事業永続を考えた設備投資にさらに資金を振り向けていくこととします。また、環境、サステナビリティ、労働環境改善への取り組みも企業に求められる重要な経営課題と認識し、これらを今後の経営方針、投資計画の指針として中期経営計画「PAXXS Vision-2030」を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

「ニーズをカタチに」、「品質の追求を」、「仕事に自信を」、これら三つを中期経営計画のテーマとして掲げ、お客様の新たなニーズに「最適な包装のカタチ」でお応えしていくことで、持続可能な社会に貢献を続ける100年企業を目指します。

(1) 「PAXXS Vision-2030」のテーマ

- ・「ニーズをカタチに」 : お客様が満足される製品を開発・提供する
- ・「品質の追求を」 : いつも安心・安全な品質を素早くお届けする
- ・「仕事に自信を」 : “働くことの満足感”を得られる職場環境づくり

(2) 1st STAGE (2022～2026)

- ・循環型社会の実現へ向かうお客様の要求へ呼応するための投資

- ・競争力のある QCD の実現に向けた投資
- ・持続的な成長に向けた人材への投資

(3) 2nd STAGE (2027~2030)

- ・変化するニーズに応える新技術、新サービス提供の拡大
- ・次世代 QCD に向けた投資の検討
- ・従業員の豊かさの実現
- ・新たな海外事業に向けた投資の検討

以上

添付資料： 中期経営計画「PAXXS Vision-2030」

昭和パックスグループ 中期経営計画

「PAXXS Vision-2030」

2022年 6月

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

「やりたいことを、できることに」

お客様の要望をカタチに変える企業を目指します。

当社は、中期経営計画「PAXXS Vision-2030」実現のため、お客様の新たなニーズに「最適な包装のカタチ」でお応えしていくことで、持続可能な社会に貢献を続ける100年企業を目指します。

「PAXXS Vision-2030」は以下の三つです。

- ▶ 「ニーズをカタチに」 : お客様が満足される製品を開発・供給する
- ▶ 「品質の追求を」 : いつも安心・安全な品質を素早くお届けする
- ▶ 「仕事に自信を」 : “働くことの満足感”を得られる職場環境づくり

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

▶ 「ニーズをカタチに」

お客様が満足される製品を開発・供給する

[主要な取り組み]

- ・ 市場調査による新たなニーズの収集と開拓
- ・ 環境配慮型製品の開発
- ・ R&Dの中心となる開発拠点の整備

⇒ 理想の包装の提供・カーボンニュートラル・循環型社会の実現に向けて尽力します。

中期経営計画「PAXXS Vision-2030」

▶ 「品質の追求を」

いつも安心・安全な品質を素早くお届けする

[主要な取り組み]

- ・ AI・画像センサーによる品質管理システムの構築
- ・ 生産管理、品質管理のデジタルイゼーション
- ・ 環境保全など社会的要請に応える工場・設備・製造方法の検討

⇒ お客様の製品を包装している間は、お客様の顔となっていることを忘れません。

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

▶ 「仕事に自信を」

“働くことの満足感”を得られる職場環境づくり

[主要な取り組み]

- ・ 「新しい学び」の提供
- ・ ワーク・ライフ・バランスをかなえる働きやすい職場
- ・ 社員の挑戦を後押しする社風の醸成

⇒ 新しい発想や挑戦を大切にし、

仕事と生活の調和を実感できる企業づくりを推進します。

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

中期経営計画の位置づけ

PAXXS Vision-2030の実現に向けて、中期経営計画は2段階の構想とし、段階的に取り組むべき経営課題に向き合い、解決していくことを想定しています。「1st STAGE」はその前半戦とも言うべき喫緊の課題へリソースを注ぎ、企業運営基盤の整備と意識改革を推進します。「2nd STAGE」へ向け、開発体制、生産設備、人への投資を積極的に行い、持続的成長と企業価値の向上を目指します。

1st STAGE (2022~2026)

1. 循環型社会の実現へ向かうお客様の要求へ対応するための投資

- ・ お客様のニーズを捉えるための新しい営業体制の構築
- ・ 市場調査による新製品の開発および市場の開拓
- ・ 製品開発拠点の充実

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

2. 競争力のあるQCDの実現に向けた投資

[Quality:品質 Cost:コスト Delivery:納期]

- ・ AI・画像センサーによる品質管理システム構築
- ・ 生産管理、品質管理のデジタルイゼーション
- ・ 新技術を搭載した最新設備への更新
- ・ 省資源型製品の開発
- ・ BCP対応に向けた資材調達が多様化

3. 持続的な成長に向けた人材への投資

- ・ ワーク・ライフ・バランスをかなえる雇用環境と働きやすい職場づくり
- ・ プロフェッショナル職業人の育成
- ・ ジェンダー平等の推進

中期経営計画 「PAXXS Vision-2030」

中期経営計画の位置づけ

PAXXS Vision-2030「2nd STAGE」は、「1st STAGE」での取組みを着実に推進し製品・サービスを拡充、お客様満足度を高めます。さらに、次のSTAGEに向けて新しい価値の創造・投資に取り組みます。

2nd STAGE (2027~2030)

1. 変化するニーズに応える新技術・新サービス提供の拡大
2. 次世代QCDに向けた投資の検討
3. 従業員の豊かさの実現
4. 新たな海外事業に向けた投資の検討

“盤石な経営基盤の構築から次のSTAGEへ”